

2026 年度テーマ特集「計量的手法を用いた漢字・漢語研究」への 投稿論文募集のお知らせ

計量国語学会では、「計量的手法を用いた漢字・漢語研究」というテーマで 2026 年度テーマ特集への投稿を募集します。

テーマ特集タイトル 計量的手法を用いた漢字・漢語研究

趣旨 言語を観察する上で文化との関わりについて考えることは重要である。日本語は古くから中国文化が流入し、大きな影響を受けてきた。日本語に見られる中国文化の影響の最たるものが漢字であり、漢語であろう。漢字文化圏などと言われる所以である。有史以来、漢字は日本語と密接な関わりを持ち、形態、音韻、意味の諸点で日本語独自の変化を遂げながら近代の思想をも色濃く反映しつつ現行の用字法を形作ってきた。また、漢語も漢字と同様に古くから用いられ、中国語由来のものに留まらず、その意味や機能の変化したものや日本語において新たに生み出されたものもあり、語彙的にも文法的にも重要な役割を担うものと言える。このような漢字・漢語の実態やその変化については日本語史の研究において数多くの蓄積がある。一方、現代語でも特定の資料や文体と漢字・漢語との関わりに関する研究、日中両言語における同形や類義の漢語の運用や意味の差異に関する研究、漢字・漢語の運用に関する国語教育的あるいは日本語教育的な立場からの研究などが進みつつあり、その関心は広範囲に及ぶものである。しかし、この種の研究は伝統的な質的研究法や少数の要素を対象とした分析法によるものが大半を占める現状にある。昨今は計量的手法を用いた漢字・漢語研究が進展しつつあるが、漢字・漢語の諸相を体系的に詳らかにするためには更に多くの計量的な漢字・漢語研究が蓄積されていくことが必要であろう。

本特集では、以下のような論文を投稿論文として募集する。

- (1) 現代語・古典語の漢字・漢語に関して計量的に分析する日本語学的研究
- (2) 漢字・漢語に関して計量的に分析する日中、日韓などの対照言語学的研究
- (3) 漢字・漢語に関して計量的に分析する国語教育的あるいは日本語教育的研究

スケジュール

2025 年 3 月 20 日 投稿受付開始

2026 年 3 月 20 日 投稿受付終了（注 3 月 31 日ではありません）

2026 年 12 月 20 日 35 巻 7 号に掲載

（査読で改稿に時間を要した場合、次号以降の掲載になることがあります）

テーマ特集原稿投稿宛先 submission@math-ling.org

通常の投稿先と同じです。投稿時に 2026 年度テーマ特集への応募であることを明記して下さい。テーマ特集への投稿についても一般の投稿と同じように査読を行います。今回の投稿カテゴリーは、「論文A」「論文B」「研究ノート」「研究資料」「書評・文献紹介」のいずれかとします。投稿と同時に当学会に入会することができます。その場合は、学会事務局にもメールでご一報下さい。事務局のアドレスは、office@math-ling.org です。